

競技・審判上の注意

① 試合会場の割り当て

- <第一会場> 真岡トクシン総合体育館・・・男子 A・B クラス、女子 A・B クラス、
<第二会場> アオキシントックもおか武道館（2F）・・・男女 C クラス、各クラス交流戦、

② マッチ及びインターバル（試合の進行状況によっては、変更する場合があります。）

■本戦

15点3ゲームマッチとします。延長なし15点打ち切りです。8点でインターバル、ファイナルゲームは、8点でチェンジインズです。

- i) 各ゲーム、どちらか一方が8点に達したら、60秒を超えないインターバルを取ることができます。
ii) ゲームとゲームの間は1分間のインターバルを設けます。

準決勝より正式ポイント（21点3ゲームマッチ、延長30点まで）で行います。ただし、Cクラスについては、15点3ゲームマッチ（延長21点まで）とします。

■交流戦

全クラス、15点3ゲームマッチとします。延長なし15点打ち切りです。

③ 交流戦

交流戦は、初戦で負けた選手を対象として実施します。例えば、1回戦が不戦勝で、2回戦で負けた場合も対象となります。希望者は、敗者審判終了後に、第二会場 2F のアリーナ出入口付近にある、「交流戦受付名簿」に記名をして、呼び出しをお待ち下さい。交流戦を始めるときは、館内放送やLINEオープンチャットでクラスごとに呼び出しますので、会場を離れて待機して頂いても結構です。

第二会場で行われる本戦の進行状況を見ながら、交流戦を入れていきます。開始はおおむね11時前後になる予定です。

④ 審判 ※詳しくは『（別紙）審判について』をご参照ください。

各コート第一試合については、対戦チームの関係者で審判（主審・線審・得点板）をお願い致します。両チームあわせて最低3名必要となります。人員不足の場合は、各会場の本部までお申し出下さい。なお、第一試合が棄権により行われない場合は、タイムテーブル2巡目の試合が第一試合となることもあります。予めご承知おき下さい。

■本戦

勝者→次の試合の線審

敗者→次の試合の主審+線審+得点板（線審と兼ねても構いません）

※選手が3年生以下の場合は、父兄やチーム関係者、4年生以上の選手が代わりに担当して下さい。

■交流戦

対戦チームの相互審判とします。主審、線審2ヶ所、得点板を対戦チームで分担して行って下さい。なお、線審は、主審や得点板と兼ねていただいても構いません。

※交流戦の審判については、学年を問いません。

⑤ 進行

招集コールから15分経過しても集合場所に現れなかった場合は、棄権とみなします。館内放送やLINEオープンチャットで進行状況を把握するようにして下さい。

タイムテーブルの2巡目以降は、流し込みで行います。

第一、第二会場それぞれの本部付近に「選手集合場所」を設けます。試合番号をコールされたら、そちらにお集まり下さい。招集係に名前を告げて、チェックを受けてから指示された席に座って待機して下さい。

試合の順番がきたら、審判用紙を選手に渡しますので、対戦相手と共に指定されたコートまで移動し、審判用紙を主審に渡して、試合を始めてください。

初戦に限り、試合前に2分間の練習時間を設けます。主審の指示に従い、対戦者同士で練習をして下さい。シャトルについては、選手が用意して下さい。（対戦者との打ち合い練習が技術的に難しい場合は、チーム関係者との練習を認めますが、対戦相手に練習相手がいない場合は、対戦者同士で練習して下さい。）

感染予防対策として、試合開始時と終了時の握手は省略しても構いませんが、勝者サインは選手が自ら行って下さい。勝者サイン後の審判用紙は、主審が各会場の本部まで持って来て下さい。

進行状況によって連続して試合を行う場合、原則として試合終了後10分以上の間隔を置き、次の試合を行います。

※「選手集合場所」付近はスペースも狭く、大変混み合いますので、招集には、なるべく選手のみでお越し下さい。

⑥ 表彰

各クラスの準決勝及び決勝終了後に随時行います。閉会式は行いません。優勝・準優勝・第3位までは賞状と賞品、メダルを授与します。（3位決定戦は行いません。）

⑦ その他

- ・ 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは、認めません。もし、判定に対して疑問のある場合には、「質問」をすることができます。ここで質問のできる者とは、当該選手に限ります。コーチや監督が審判に対して、高圧的な態度をとることは厳に慎んでください。
- ・ コーチ席は、各エンドラインに1席ずつ設けます。
- ・ タオルや飲み物ボトルを床に直接置かないようにして下さい。コートサイドに各自バッグなどを持参して、それに入れて下さい。
- ・ 第4回しもつけオープンにおけるケガなどを保障する団体傷害保険に加入しております。大会中にケガをした場合は、お申し出下さい。

以上

第4回しもつけオープン大会本部からの連絡

- 感染症予防対策について
 - ・ 個人の責任において、手指消毒やマスクの着用など感染予防に努めて下さい。
 - ・ 体調不良の場合は、出場を見合わせて下さい。
- チーム受付は行いません。WEBプログラムとなりますので、冊子の配布もございません。ただし、棄権がある場合は、「棄権連絡」を試合当日の8:30までに、第一会場本部へ提出して下さい。事前に連絡済みであっても提出をお願い致します。なお、棄権により、チームからどなたも来場しない場合はこの限りではありません。
- 公式練習、開会式は行いません。8:20から試合のコールを開始し、8:30には試合を開始となります。LINEオープンチャットでは、試合の進行状況を随時流していきますので、目安として下さい。
- 館内での食事について
第一会場、第二会場ともに飲食に関する制限はございません。但し、アリーナ（競技フロア）については、水分補給のみです。第二会場については、観客席がなくアリーナのみですので、食事は不可です。第二会場1Fロビーなどをご利用下さい。
- 外履きは袋に入れて自分の手元で保管して下さい。（特に第一会場は、下駄箱の数が十分ではありません。ご協力お願い致します。）
- 各会場の体育館は換気や温度調節のため、窓やドアを開放して試合を行う場合がございます。予めご了承下さい。
- 第一会場アリーナ（競技フロア）内での観戦、コールされていない選手の待機や、ビデオ撮影はできません。大会進行の妨げとなりますので、おやめください。第二会場については、観覧席がございませんので、試合の妨げとならないようご注意のうえ、アリーナ内で観戦やビデオ撮影をして下さい。
- 会場内の通路等での素振りや打ち合いは危険ですので、絶対に行わないで下さい。また、会場駐車場での練習やウォーミングアップも危険ですので、禁止とします。第一会場の東側にあるグラウンドについては、使用申請していませんので立ち入らないで下さい。
- 会場の駐車台数は十分でございます。また、第二会場敷地内にも広い駐車場がございます。大会サイトの「駐車場のご案内」参照して下さい。
- 第二会場1Fの柔剣道場については、大会本部として使用申請していませんので、立ち入り禁止です。
- 第一会場において、団(クラブ)旗・応援旗等の掲揚を認めます。但し、競技・大会運営に支障があると判断した場合には、指示に従って撤去または移動していただきます。
- 会場である体育館の設備や備品、掲示物、チラシなどは、丁寧に扱って下さい。ロビーをご利用の際も、ゴミの後始末、持ち帰りなどご協力をお願い致します。また、ロビーの椅子を移動した場合は、元の位置にお戻し下さい。

以上